



令和 **7** 年度 年間授業計画 教科 **国語** 科目 **言語文化**

教科: **国語** 科目: **言語文化** 単位数: **2** 単位

対象学年組: 第 **1** 学年

使用教科書: 教科書: **言語文化【大修館書店】**  
副教材: **ダブルマスター古典文法+漢文句形【第一学習社】** **新訂総合国語便覧【第一学習社】**

教科	<b>国語</b>	の目標:
【知識及び技能】	生涯にわたる社会生活に必要な国語について、その特質を理解し適切に使うことができるようにする。	
【思考力、判断力、表現力等】	生涯にわたる社会生活における他者との関わりの中で伝え合う力を高め、思考力や想像力を伸ばす。	
【学びに向かう力、人間性等】	言葉のもつ価値への認識を深めるとともに、言語感覚を磨き、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、生涯にわたり国語を尊重してその能力の向上を図る態度を養う。	

科目	<b>言語文化</b>	の目標:			
【知識及び技能】	生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に対する理解を深めることができるようにする。	【思考力、判断力、表現力等】	論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり高めたりすることができるようにする。	【学びに向かう力、人間性等】	言葉が持つ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域			評価規準	知	思	態	配 当 時 数
		話・聞	書	読					
<b>単元 5</b> 伊勢物語 <b>【知識及び技能】</b> 古典を読むために必要な文語のきまりや古典特有の表現、時間の経過などによる言葉の変化について理解を深める。 <b>【思考力、判断力、表現力】</b> 話の中で和歌が果たしている役割を押さえ、歌物語の特徴と読み解き方を理解する。 <b>【学びに向かう力、人間性等】</b> 歌物語に積極的に親しみ、学習課題に沿って和歌の果たす意味を捉える。	指導項目に対し、次の教材等を活用する。 ・指導事項	○	○	○	次の観点別評価規準に従い評価する。 <b>【知識及び技能】</b> 古典を読むために必要な文語のきまりや古典特有の表現、時間の経過などによる言葉の変化について理解を深めている。 <b>【思考力・判断力・表現力】</b> 話の中で和歌が果たしている役割を押さえ、歌物語の特徴と読み解き方を理解している。 <b>【学びに向かう力、人間性等】</b> 積極的に説話を読み味わい、互いに話のおもしろさを伝え合おうとしている。	○	○	○	7
	歌の中で和歌が果たしている役割を押さえ、歌物語の特徴と読み解き方を理解する。 ・教材				教科書等				
	一人1台端末の活用(場面)				意見の発表や交換等				
	自由記述された随筆を読んで、当時の人々の生活感覚や興味の対象を知り、ものの見方、考え方を理解する。 ・教材				教科書等				
	一人1台端末の活用(場面)				意見の発表や交換等				
<b>単元 6</b> 徒然草 <b>【知識及び技能】</b> 古典を読むために必要な文語のきまりや古典特有の表現、時間の経過などによる言葉の変化について理解を深める。 <b>【思考力、判断力、表現力】</b> 自由記述された随筆を読んで、当時の人々の生活感覚や興味の対象を知り、ものの見方、考え方を理解する。 <b>【学びに向かう力、人間性等】</b> 学習の見通しをもって随筆のさまざまな文体や取り上げられた対象に触れ、考えたことを効果的に伝えるよう表現の仕方を工夫して書く。	指導項目に対し、次の教材等を活用する。 ・指導事項	○	○	○	次の観点別評価規準に従い評価する。 <b>【知識及び技能】</b> 古典を読むために必要な文語のきまりや古典特有の表現、時間の経過などによる言葉の変化について理解を深めている。 <b>【思考力・判断力・表現力】</b> 自由記述された随筆を読んで、当時の人々の生活感覚や興味の対象を知り、ものの見方、考え方を理解している。 <b>【学びに向かう力、人間性等】</b> 歌物語に積極的に親しみ、学習課題に沿って和歌の果たす意味を捉えようとしている。	○	○	○	7
	自由記述された随筆を読んで、当時の人々の生活感覚や興味の対象を知り、ものの見方、考え方を理解する。 ・教材				教科書等				
	一人1台端末の活用(場面)				意見の発表や交換等				
	定期考査(第2学期中間考査)/返却と解説								
	定期考査(第2学期期末考査)/返却と解説								
<b>単元 7</b> 訓読に親しむ <b>【知識及び技能】</b> 古典の世界に親しむために、古典を読むために必要な訓読のきまりや古典特有の表現などについて理解を深める。 <b>【思考力、判断力、表現力】</b> 漢文を訓読するための基礎知識として、返り点の種類と使い方、助字の働きと意味、再読文字の種類と読み方を習得する。 <b>【学びに向かう力、人間性等】</b> これからの学習に見通しをもって、漢文訓読の基礎知識を積極的に身に付ける。	指導項目に対し、次の教材等を活用する。 ・指導事項	○	○	○	次の観点別評価規準に従い評価する。 <b>【知識及び技能】</b> 古典の世界に親しむために、古典を読むために必要な訓読のきまりや古典特有の表現などについて理解を深めている。 <b>【思考力・判断力・表現力】</b> 漢文を訓読するための基礎知識として、返り点の種類と使い方、助字の働きと意味、再読文字の種類と読み方を習得している。 <b>【学びに向かう力、人間性等】</b> 学習の見通しをもって随筆のさまざまな文体や取り上げられた対象に触れ、考えたことを効果的に伝えるよう表現の仕方を工夫して書こうとしている。	○	○	○	5
	漢文を訓読するための基礎知識として、返り点の種類と使い方、助字の働きと意味、再読文字の種類と読み方を習得する。 ・教材				教科書等				
	一人1台端末の活用(場面)				意見の発表や交換等				
	定期考査(第2学期中間考査)/返却と解説								
	定期考査(第2学期期末考査)/返却と解説								
<b>単元 8</b> 蛇足 <b>【知識及び技能】</b> わが国の言語文化の特質やわが国の文化と外国の文化との関係について理解する。 <b>【思考力、判断力、表現力】</b> 作品や文章に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉え、内容を解釈する。 <b>【学びに向かう力、人間性等】</b> 積極的に史伝の特徴を理解し、たとえ話における論理を説明できる。	指導項目に対し、次の教材等を活用する。 ・指導事項	○	○	○	次の観点別評価規準に従い評価する。 <b>【知識及び技能】</b> わが国の言語文化の特質やわが国の文化と外国の文化との関係について理解している。 <b>【思考力・判断力・表現力】</b> 作品や文章に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉え、内容を解釈している。 <b>【学びに向かう力、人間性等】</b> これからの学習に見通しをもって、漢文訓読の基礎知識を積極的に身に付けようとしている。	○	○	○	6
	話の展開をとらえ、作者が話に込めた意図を読み取る。 ・教材				教科書等				
	一人1台端末の活用(場面)				意見の発表や交換等				
	定期考査(第2学期中間考査)/返却と解説								
	定期考査(第2学期期末考査)/返却と解説								

